

【理事会議事録】

日 時：2011年1月22日（土）13：00～17：00

場 所：国立天文台三鷹 大会議室

出席理事：岡村，杉山，河合，本原，竹田，松尾，
田代，茂山，柏川，幸村，吉川，梅村，
太田，仲野（以上14名）

欠席理事：山田（以上1名）

その他，前年度までの理事である柴田，高田，堂谷，児玉，半田，小川，藤沢，藤本の各氏が出席した。また，宮下事務長と桜井 隆氏（PASJ編集顧問会議幹事）が出席した。

I. 確認事項など

I-1 議事に先立ち，議長と署名人の確認がなされた。議長：岡村定矩 署名人：竹田洋一，本原顕太郎

I-2 新旧理事の自己紹介が行われた。

I-3 新理事長の挨拶が岡村理事長より行われた。

II. 報告

II-1 前回議事録の確認（資料1，竹田）資料1に基づき，前回（2010年9月22日）の理事会議事録が報告・確認された。

II-2 前回以降の新入退会など会員の変動（資料2，竹田）2010年9月18日より2011年1月21日までの間の会員変動が報告された。新たにできた休会制度に1名より申請があり，実務理事で議論した上で承認した旨報告された。

II-3 2010年度監査報告（資料3，竹田，田代）2011年1月19日に国立天文台で紀伊恒男および牧島一夫両監事によって行われた監査結果が報告された。2010年度事業報告書案，2010年度決算報告書案ともに正当であると承認された。また，その際，監事には高度な会計知識が要求されるために，現在定款で定められている日本天文学会正会員以外に専門の公認会計士を追加することを検討するべきでないか。会費未納者が多いため，たとえば支払いは基本口座引落にするようできないかなどのコメントが出された旨報告された。

II-4 事業担当理事の近況，引き継ぎ報告

年会（幸村）年会期間中展示ブースの試行を決定した。また，年会中の行事の担当理事間の情報共有及び作業の確認を行う場を設けることとした。

天文月報（児玉，柏川）新たなアイデアを積極的にいれた書面づくりを進めてゆきたい。

PASJ（資料4，茂山，堂谷；追加資料，桜井）本年度は，特集号が5回（暗黒星雲，VERA，Subaru，Hayabusa，Suzaku）出る。そのうち単独特集号は3回（暗黒星雲，Subaru，Suzaku）。紙版配布停止の希望者は現在519人。なお，印刷部数は2000部弱。昨年後半から始めたE-Open申し込みは13編あり，順調である。また，その際の議論として莫大な量のカタログを特集として紙版で出版しても有効に利用されるだろうか，無駄にコストをかけることにならないかとの懸念が表明された。このような特集号の意義を調査し，長大な図表については電子的な出版のみにとどめるような新たな制度をつくれぬか，検討していく事とした。PASJ編集顧問会議幹事の桜井 隆氏より，PASJの国際化をすすめるために東アジアの著名な中堅天文学者を編集委員に追加することが提案された（配布資料）。議論の結果認めることとし，評議員会の意見を聞くこととした。編集委員は「原則として日本天文学会正会員である」必要がある。しかし，編集委員をお願いしてさらに正会員になっていただくことを条件にするのは「はばかり」があるので，理事長の承認のもとにある種の特例措置を考える。また，編集顧問幹事である桜井氏には顧問会議での議論の進捗を定期的に理事会で報告していただくこととした。

庶務（竹田）登録メールアドレスがtennetとデータベースで齟齬があった問題は統合して解決した。また，事務所のサーバのリプレイスが完了した。

会計（田代，松尾）監査の前に，公認会計士によるチェックをしてもらうようにした。

天文教育（半田）講師紹介事業について，名古屋市科学館に実務を委託していたが，現在建て替えにともな

ってネットワーク不通となる問題が出ている。対応中。また、講師紹介事業の利用率が低下しており、何らかの対応を考えている。

II-5 事務所の近況報告（資料5, 宮下）宮下事務長より事務所パート職員の退職・採用の状況が説明された。また、2011年1月4日仕事始めを行った。岡村理事長ほか数名の役員が参加したことが報告された。

II-6 2010年度版名簿作成に関する報告（資料6, 宮下）2010年版の「会員名簿」に掲載された新役員名簿に間違いがあることが印刷配布後に判明した。具体的には、監事および選挙管理委員会のメンバーの名前に一部誤りがある。訂正および謝罪文をtennetに流すとともに、天文月報に掲載する。

II-7 今後の年会の準備状況（梅村, 太田, 仲野）

筑波大学（配布資料, 梅村）

1. 8会場, 632講演
2. 展示コーナー申し込みは一般7件, 会員1件。
3. 懇親会会場は最大270名。当日受付が無くなる可能性がある。
4. 公開講演会はつくばエクスプレスの駅からすぐの場所。4講演で、開催経費は科研費で採択された100万円及び、つくば市からの補助21万4千円。講演謝金については、学会員でない佐藤直樹氏のみ支払う。学会の各種事業に対する謝金の支払いが必ずしも統一されていないように見えるので、考え方を整理する必要がある。
5. 臨時バスを手配している。

京都大学（太田）

1. 現在の予定は2012年3月19日～22日
2. 場所は龍谷大学深草キャンパスで、同大学の中山薫二氏に大いに助けていただいている。
3. 公開講演会および記者発表は3月18日を予定しているが、場所は未定。
4. 京大で行えなかった理由は会場使用料見積もりが200～300万円と非常に高額であったため。その一方で、龍谷大学は大学で認められた場合は使用料は免除となる。この問題に対して、庶務理事が主体となって日本の主要大学キャンパスで年会を開催した場合にかかる費用を調査することとした。

大分大学（仲野）

1. 現在の予定は2012年9月19日～21日
2. 会場費の見積もりはまだ行っていない。
3. 部屋の確保は完了している。

II-8 学生会員の身分確認について（竹田）すでに学生でなくなっているにもかかわらず、届けを出さずに学生会員として登録されたままになっている会員がいるという件についてのその後の調査報告がなされた。一時危惧された「不正に学生割引会費で済ませている会員が多くいて学会側が損をしているかもしれない」という心配は無いことが判明した。しかし、身分変更したのかどうか不明の会員も少なくないので、学生割引で会費支払いをする会員は会費納入の際に在学中である旨の自己申告をさせることにした。

II-9 巡回展（半田）100周年記念事業に引き続いて行われていた巡回展示は本年5月に熊本での開催を最後に終了する。なお、終了後展示物については引取先を募り、決定した。

II-10 衛星コンテスト（岡村）岡村理事長が1月21日に行われた実行委員会に、坂尾太郎委員とともに出席した。主に衛星の技術を審査する「設計の部」と、アプリケーションやアイデアを審査する「アイデアの部」に加えて「ジュニアの部」もある。慎重な審査とアドバイスを行う教育プログラムであり、日本天文学会、地球電磁気学会など理学系の学会の参加も重要視されている。

III. 議題

III-1 2010年度事業報告書案（資料9, 竹田）昨年度の事業報告書案が竹田庶務理事より説明された。文科省からの指導により、各項目に対して、定款のどこに対応するのかの説明などが今回から新たに追加された。後援事業などのリストの内容に不備がある点が指摘され、この点を改善することを条件に承認された。

III-2 2010年度決算報告書案（資料10, 田代）昨年度の決算報告書案が田代会計理事より説明された。一般会計：会費収入およびPASJ収入が増収であったこと、及びに星座早見盤に増刷がかかり、臨時で収入があったのに対し、支出も伸びたものの、最終的に135万円の黒字であった。その結果、繰越金の残高は1800

万円程度となっている。この金額が多すぎるか少なすぎるかという質問に対しては、年間の予算規模が8000万円近くある状況であり、次年度の会費納入までの1-3月の間のキャッシュフローを確保するためには2000万円程度が必要になることを考えると適正レベルである旨説明された。また、昨年度は科研費収入がそれ以前より大幅に増えて780万円あったことから黒字になっているが、依然として会計的にはぎりぎりの状況にあることは変わらない。

特別会計：研究奨励賞、内地留学基金は新規収入がないためあと9年ほどで残額がなくなる。林 忠四郎賞基金は残額が多く、あと30年ほどは大丈夫である。その一方、早川基金については継続的な寄付がなされており、残額の心配はない。これらの問題については、監査のコメントにもあったように寄付を集めることをそろそろ考え始める必要がある。

これらの議論ののち、決算報告書案は承認された。

III-3 2011年春季定期総会議題案（資料11、竹田）竹田庶務理事より各議題案についての説明があったのち、承認された。

III-4 内地留学制度に関する内規について（竹田）岡崎内地留学奨学金選考委員長より申し出のあった、内地留学制度に関する内規において

終了後決算報告書を提出することの義務化

留学成果報告書の内容を天文月報上に発表することを推奨する

という二項を付加するように変更したい、という提案について議論した結果、特に必要とは認められないという意見が優勢を占めた。従って内規の変更は行わず、決算報告書については報告書の書式に決算を記入する箇所を新設し、天文月報記事についても公募書類上にその旨記述することで対応してもらうこととした。

III-5 巡回企画展担当幹事について（竹田）巡回企画展は5月まで継続されるものの、担当していた半田教育理事の任期は2010年12月で終了した。そのため、継続して半田氏に担当していただくため、『巡回企画展示担当幹事』の肩書を付与することとした（2011年末まで）。

III-6 準会員の年会参加費（資料7、幸村）2010年9月の理事会で本間前年会実行理事から提案された、準会員の年会参加費の引き上げを検討した結果について幸村年会実行理事から、現在年会の会計はほぼ独立しており、受益者負担の観点から準会員の講演登録料は本会員と同じでよいのではないかという説明がなされた。これに対し、そもそもの準会員の位置づけを考えた場合にそれはやはり問題であるという指摘が複数の理事からなされ、最終的に、準会員の年会参加費については参加費3000円、講演登録費は1講演につき5000円とすることとし、評議員会の意見を聞くこととした。なお、正会員は参加費3000円、講演登録費は2講演目から3000円である。また、年会費は正会員が18000円、準会員が8000円であることから、会費の観点からもこの額は妥当であろうと考えた。

III-7 年会登録費の事前支払（資料8、幸村）年会の参加費および講演登録費は現在現地での現金払いとなっている。しかしながら、この現金は総額が200万円以上となってしまう、それをATMまで輸送する際のセキュリティリスクは非常に高い。そこで、年会講演者に限り参加・登録費の事前支払いを原則としたい旨幸村年会実行理事より提案があった。これについて、評議員会の意見も聞きながら、できるだけさまざまな可能性を追求しつつ検討を進めることを承認した。

次回の理事会は、春季年会期間中、2011年3月16日に筑波大学で開催される予定である。

[資料リスト]

資料1 前回理事会(2010/9/22)議事録

資料2 新規加入者などの報告(2010/9/18-2011/1/21)

資料3 監査報告書

資料4 PASJ編集委員会からの報告

資料5 事務所の近況報告

資料6 2010年度版名簿作成に関する報告

資料7 準会員の年会参加費に関する現状と提案

資料8 年会登録費の事前支払について

資料9 社団法人日本天文学会2010年度事業報告書案

資料10 2010年度会計報告書案

資料11 2011年度春季定期総会議題案

資料12 巡回企画展担当幹事

資料13 内地留学奨学金応募書類

配布資料 PASJ編集委員に東アジアからも1～2名を加え、国際化の第一歩とする提案

配布資料 2011年日本天文学会春季年会開催地準備状況報告

2011年2月14日

議長：岡村定矩 印

署名人：竹田洋一 印

署名人：本原顕太郎 印